

2017年5月24日

株式会社 昭文社

おかげさまで1500万部

この春から開催の「志国高知 幕末維新博」に合わせ 『ことりっぷ高知 四万十・室戸』発売 ～海・川・山が織りなす絶景やカフェ、アートスポットなどを収録～

株式会社昭文社（本社：千代田区麹町、代表取締役社長 黒田茂夫、東証コード：9475）は、このたび高知県観光コンベンション協会のご協力の下、人気ガイドブックシリーズ「ことりっぷ」の新刊『ことりっぷ高知 四万十・室戸』を5月31日より発売いたします。

本誌は2017年3月4日から約2年に渡って開催される「志国高知 幕末維新博」に合わせて出版され、歴史をテーマにした旅の提案も掲載。博覧会を楽しむのにもご活用いただける内容となっております。



<表紙>



<誌面イメージ>

■『ことりっぷ高知 四万十・室戸』の特長

四万十川や坂本龍馬、カツオなど、自然も歴史もグルメも魅力いっぱいの高知。ことりっぷ高知では、

- 足摺、室戸、四万十川、四国カルストなど、自然が育んだ癒しの絶景
- 世界に二つしかないモネの庭、こだわりの店が集まる嶺北など話題のスポット
- 活気ある青空マルシェや地元食材を生かしたごはん、眺めのいいカフェ

など、高知の「今」の魅力をぎゅっと集めました。

表紙柄はよさこい祭りで使用する鳴子、帯写真は四万十川と岩間沈下橋を採用。手にとった読者の方が週末、高知への旅へと思わず誘われるような、魅力にあふれた充実の一冊に仕上がりました。



<マルシェ>



<モネの庭>

【リリースに関する問い合わせ】株式会社 昭文社 広報担当 竹内 渉

TEL03-3556-8271 FAX03-3556-8168

昭文社ホームページ

<http://www.mapple.co.jp/>

■具体的な誌面構成

本書は大きく 4 つの構成にわかれています。

●高知タウンとその周辺

高知県の玄関口・高知タウンは南国土佐の城下町。センスのよいレストランやおみやげものも多く、グルメやショッピングを楽しめます。周辺には「奇跡の清流」として有名な**仁淀川**や日本の原風景が広がる**嶺北エリア**があり、自然の中でのんびり過ごすことができます。



<かわいいおみやげ>



<仁淀ブルー>

●四万十・足摺・四国カルスト

なだらかな山肌に石灰石が顔をのぞかせる**四国カルスト**と蛇行しながら悠々と太平洋へと続く**四万十川**、水平線の彼方まで見渡せる**足摺岬**。自然の中に身をまかせ、ゆっくり過ごすのが似合います。四万十の幸にカツオのタタキ…。自然が育んだおいしい料理も味わえます。



<四万十川>



<しまんトロッコ>

●安芸・室戸

雄大な太平洋の景観が魅力の県東部のこのエリアはユネスコ世界ジオパークにも認定されている**室戸岬**や海洋深層水、ドルフィンセンターなど太平洋の恵みを存分に楽しめます。オーシャンビューのレストランや素材の良さが光る**安芸グルメ**もおすすめ。山側に足を延ばすと柚子で知られる**馬路村**やモネの庭のある**北川村**も。素朴な山里が広がります。



<オーシャンビューレストラン>



<海洋深層水>

●高知の歴史さんぽ

南国土佐が輩出した幕末の志士はタレントぞろい。維新を支え、幕末を駆け抜けた**坂本龍馬**をはじめ、近代日本への扉を開いた時代の先駆者たちを数多く生み出しました。ここでは高知県内の各地にあるゆかりの地を訪ねる**歴史さんぽ**を、高知ならではの旅の楽しみ方としてご提案しています。



<幕末の英傑>



<龍馬グルメ>

■『ことりっぷ』について

『ことりっぷ』は、働く女性が週末に行く 2泊3日の小さな旅を提案したガイドブックの大人気シリーズです。2008年に創刊以来、旅好きな女性に圧倒的支持をいただいております。2017年4月現在、国内版65点、海外版39点、会話帖9点の計**113ラインナップ**を展開しております。



■商品概要

【商品名】『ことりっぷ高知 四万十・室戸』

【体裁・頁数】A5変型判（H180×W148）、本体112頁

【発売日】2017年5月31日

【定価】本体800円+税